

発掘調査を土台とした 歴史叙述の試み

放射性炭素年代測定、炭素・窒素同位体分析、DNA分析……
個別・細分化した科学分析が隆盛するなかで、考古学は何を目指すのか。
考古学で歴史叙述する方法とその実践を解説。

新泉社
新刊

考古地域学を学ぶ 戸沢充則の考古学

海戸塾 編

代表 勅使河原彰

海戸塾は、戸沢充則が晩年に長野県岡谷市の海戸遺跡近くに開いた場。そこに集った教え子・関係者が本書を分担執筆。



海戸塾 編

考古地域学を学ぶ
戸沢充則の考古学

放射性炭素年代測定、
炭素・窒素同位体分析、DNA分析……
個別・細分化した科学分析が隆盛するなかで、
考古学は何を目指すのか。
考古学で歴史叙述する方法とその実践を解説。

新泉社

四六判304頁 定価2300円+税

目次

第I部 考古学研究	
第1章 先土器時代研究	大竹憲昭
第2章 縄文時代研究	三上徹也
第3章 学際的研究	山科 哲
第II部 学問を育むもの	
第4章 信州教育と戸沢充則	中島 透
第5章 藤森栄一と戸沢充則	藤森英二
第III部 社会への責任	
第6章 遺跡は誰のためのものであるべきか	井口直司
第7章 考古学と社会	追川吉生
第8章 旧石器ねつ造問題と戸沢充則	勅使河原彰

戸沢充則

とざわ・みつりの、1932-2012年

旧制中学校一年生の時に、学校の裏山で縄文土器片を拾い歴史の真実に触れた感動から考古学の道を歩む。高校生時代には、藤森栄一氏が主宰する「諏訪考古学研究所」に参加。その後、明治大学文学部考古学専攻に進学。以後、明大で先土器時代・縄文時代の研究と学生の指導をつづけ、明大考古学博物館長、学長を歴任。その一方で、「市民の考古学」をモットーに各地で市民参加の発掘調査、考古地域史研究を実践する。



◎全国の書店にてご購入・ご注文いただけます。

▶「遺跡を学ぶ」通信 <https://twitter.com/iseki200>

ご注文書	書店名	新泉社 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル TEL 03 (5296) 9622 FAX 03 (5296) 9623		
		海戸塾 編	考古地域学を学ぶ ——戸沢充則の考古学	定価2300円+税 ISBN978-4-7877-2206-5 C1021
	お名前	ご住所・お電話番号		

冊